

ドイツ Lanxess 社、バイオ原料を使用した EPDM を世界で初めて製造

2011/09/30 17:46

浜田 基彦＝日経 Automotive Technology

ドイツ Lanxess 社は 2011 年 9 月 21 日にドイツのデュッセルドルフで開かれた「Rubber Day Germany」で、バイオ原料を使った EPDM(エチレン・プロピレンゴム)を初公開した。同社は 2011 年末までに同 EPDM の商業生産を始めることを目指す。これはバイオ原料から造る世界初の EPDM となる。

通常、EPDM は石油系原料であるエチレンとプロピレンから造る。Lanxess 社は、このうちエチレンの代替として、ブラジル産のサトウキビからエタノールを脱水させて生成したバイオエチレンを使った。バイオエチレンはブラジル Braskem 社が生産し、ブラジル、トリウンフォにある Lanxess 社の EPDM 工場にパイプラインを経由して供給する。

トリウンフォ工場では現在、EPDM を年間 4 万 t 造っている。そのうちバイオエチレンを使った EPDM は数百 t になる予定。EPDM は、主に自動車業界で使うが、プラスチックの改質用途や、ケーブル、ワイヤー、建築、オイル添加剤などの用途もある。低比重、耐熱性、耐酸性、耐薬品性、耐候性、電気絶縁性などの特性を備えている。